

七十五年の記憶 ～ 生存者の肖像 ～



写真展&トークセッション

商社勤務の傍ら、長年南京に通い南京大虐殺生存者の取材を続けてきたフォトジャーナリスト宮田幸太郎氏。今回、神戸学生青年センター、神戸・南京を結ぶ会の方々の協力を得て、その取材の成果を写真展として初めて一般公開することとなりました。最終日25日にはトークイベントとして、宮田氏の取材への思いや伝えることの意義などをお話しいただくと共にゲストとしてジャーナリストの方を交え、メディアは歴史をどう伝えてきたのか、どう伝えるべきかをテーマにディスカッションいたします。ゲスト★西村秀樹(MBS)、矢野宏(新聞うずみ火)、石丸次郎(アジアプレス大阪事務所)、合田創(自由ジャーナリストクラブ) 敬称略
ゲストは都合により変更となる場合もありますのでご了承ください。

宮田幸太郎
大学卒業後、マレーシアに2年、シンガポールに1年滞在し、現地で日本軍の過ちを耳にする。帰国後、月刊誌 DAYS JAPAN と出会う。2010年、DAYS JAPAN フォトジャーナリスト学校修了。商社勤務の傍ら、フォトジャーナリストとして南京に通い、南京大虐殺の生存者(生存者を中国ではこう呼ぶ)を撮影してきた。
2012年12月、南京大虐殺が行われてから75年の節目、写真展を開催する運びとなった。

写真展「七十五年の記憶～生存者の肖像～」

日時：2012年11月18日(日)～25日(日)

9:00～22:00(最終日は17:00まで)

場所：神戸学生青年センター ロビー

兵庫県神戸市灘区山田町3丁目1-1 阪急六甲駅下車徒歩3分

<http://ksyc.jp/facilities/map/>

入場無料

トークセッション

日時：2012年11月25日(日) 13:30 開演(13:00 開場)

場所：神戸学生青年センター ホール

定員：70名

事前予約は必要ありませんが、参加人数確認のため事前にお申込みいただくと幸いです。

参加協力費：1,000円

主催：DAYS JAPAN 関西サポーターズクラブ

お問合せ・お申込み先 TEL 090-8539-7021 e-mail v-kansai@daysjapan.net

後援：神戸学生青年センター、神戸・南京を結ぶ会